

故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

スクリューセット

4. きちんと取り付けられているか？

カートリッジ止ビス

5. 十分に締め付けてあるか？

カートリッジ

3. 破損・ゴミかみはないか？

整流器

2. ゴミづまりはないか？

※新品時はシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく洗い流してください。
清掃方法についてはお客様用取扱説明書をご参照ください。

水漏れ防止パッキン

6. きちんと取り付けられているか？

逆止弁

7. 破損・ゴミかみはないか？

止水栓

1. 全開されているか？
圧力は十分か？

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7
水が止まらない	3
温度不良	1. 3. 7
レバーがガタつく	4. 5
カウンター内に漏水する	6
吐水口より漏水する	8
浄水が止まらない	9
浄水用ハンドルがガタつく	10. 11

吐水口オーリング

8. キズ・ゴミかみはないか？

ヘッドパーツ

9. 十分に締め付けてあるか？
破損・ゴミかみはないか？

インサート

10. きちんと取り付けられているか？

ハンドル

11. きちんと取り付けられているか？

水栓部についてのお問い合わせ
グローエジャパン株式会社サービス課
☎ 0120-02-3900

浄水カートリッジ部についてのお問い合わせ
クリンスイサービスセンターU係
☎ 0120-328-432

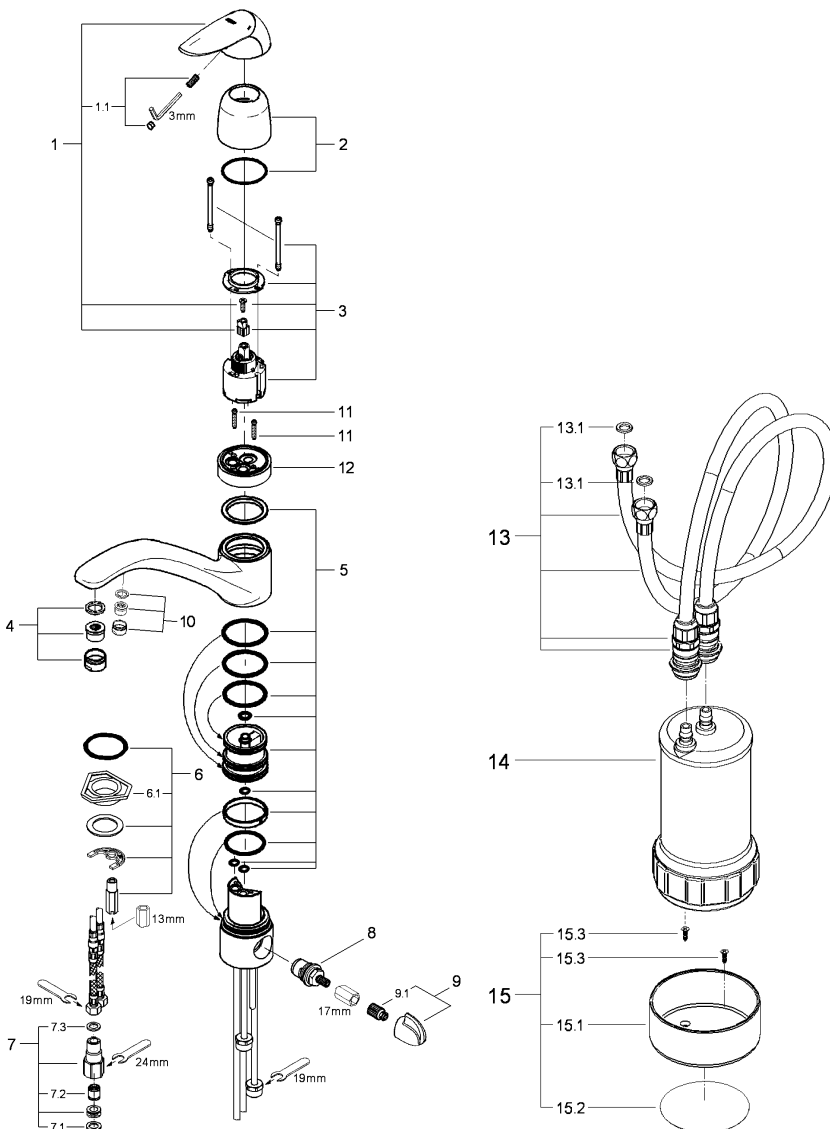
浄水器用シングルレバーキッチン混合栓施工説明書

3 2 3 1 8

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ディスクレバー
1.1	スクリューセット
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
4	エアレーター(マウザー)
5	パッキンセット
6	締付セット
6.1	固定板
7	逆止弁アダプター
7.1	1/2 パッキン
7.2	逆止弁φ15
7.3	3/8 パッキン
8	セラミックヘッドパーツ
9	ハンドル
9.1	インサート
10	エアレーター(浄水器用)
11	止ビス
12	分岐フランジ
13	浄水器接続ホース
13.1	1/2 ゴムパッキン
14	浄水カートリッジ
15	カートリッジ受皿セット
15.1	カートリッジ受皿
15.2	両面テープ
15.3	止ビス

※カウンター穴あけ寸法はφ34
～φ37で行ってください。
カウンター厚 60mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

浄水カートリッジの入口、出口は逆に接続しないでください。

※浄水になりません。また、活性炭（黒い水）が出る恐れがあります。



凍結の恐れのある場所には設置しないでください。

※破損、水漏れの恐れがあります。



施工完了後は、配管接続部分及び水栓から水漏れの無いこと確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



給水は水質基準に適合した上水道に接続してください。

※体調を損なうおそれがあります。



浄水カートリッジは給水用です。給湯配管には絶対に接続しないでください。

※変形、破損による水漏れや、やけどの恐れがあります。



給水圧力が 0.35Mpa (3.5kgf/C m²) を超える場合は、減圧弁で減圧してください。

※変形、破損による水漏れの恐れがあります。



使用条件

● 給水圧力

◇給水圧力が 0.35Mpa (3.5kgf/C m²) を超える場合は、減圧弁で減圧してください。

0.2Mpa (2.0kgf/C m²) 程度が適当です。

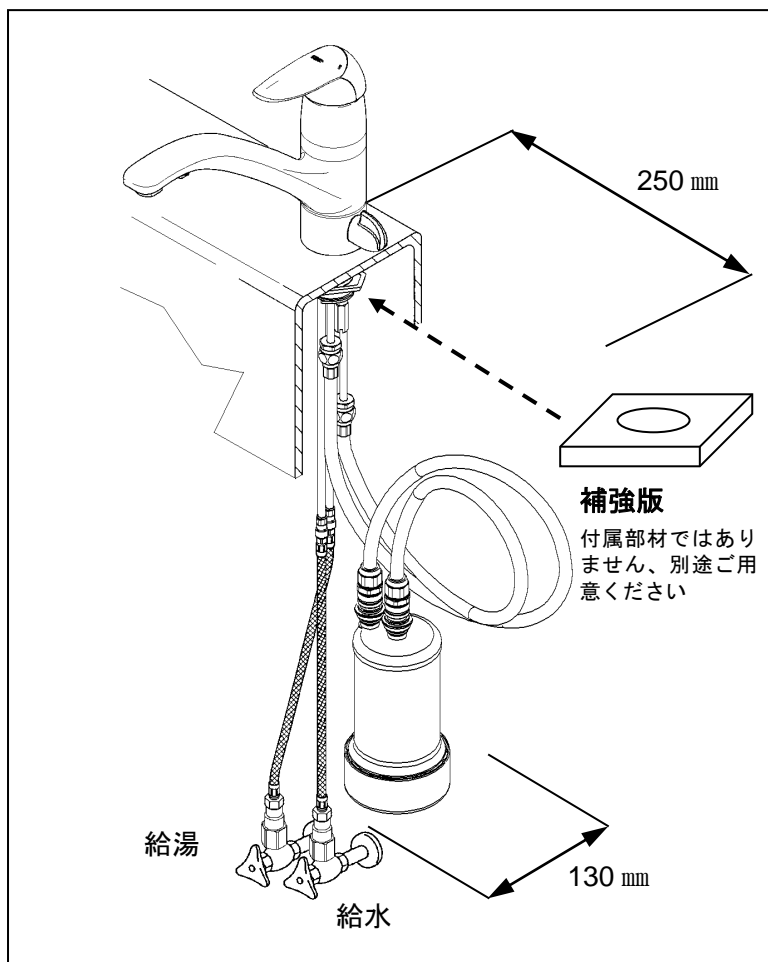
● 給湯には接続しないでください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 浄水カートリッジの交換、水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

● 混合水栓の左右約に 250mm 程度で他に障害物がなく、内部に浄水カートリッジが設置できる位置を選んでください。

● 本水栓 No32318 は内部構造上、本体に重量がある為、設置の際はカウンター（天板）に強度を持たせていただくよう注意が必要です。ステンレスなど厚みのない天板に対しては、十分に補強した上で設置してください。※別途カウンター内寸法に合わせた補強板（横手方向に 200mm 以上幅を取った、十分に硬度のある板材を使用してください）を準備し、十分に補強した上で付属の固定部材で補強板を挟み込むように設置してください。（補強板の厚みによって、三角固定板を使用しなくても施工できます）



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

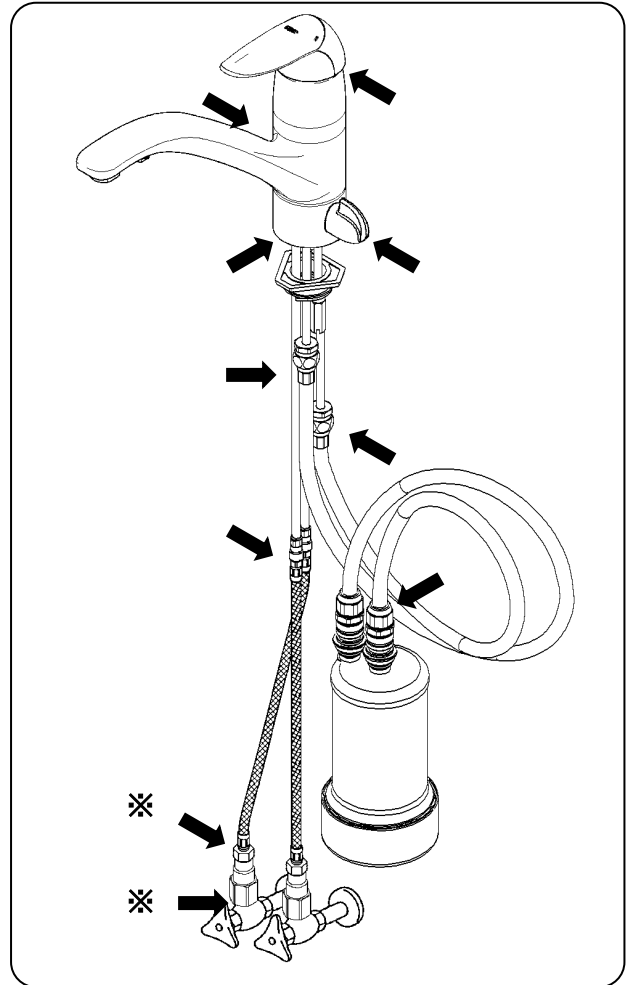
図 9

1. 接続部の水漏れ（図 9 参照）

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓とアダプターの接続部。
- アダプターと給水・湯給ホースの接続部。
- 給水・湯給ホースと給水・湯給パイプの接続部。
- 給水・湯給パイプと本体の接続部。
- 本体とレバーの接続部。
- 本体と吐水口の接続部。
- 本体とハンドルの接続部
- 本体と水浄水器接続ホースの接続部。
- 水浄水器接続ホースと浄水カートリッジの接続部
- 本体と吐水口の接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

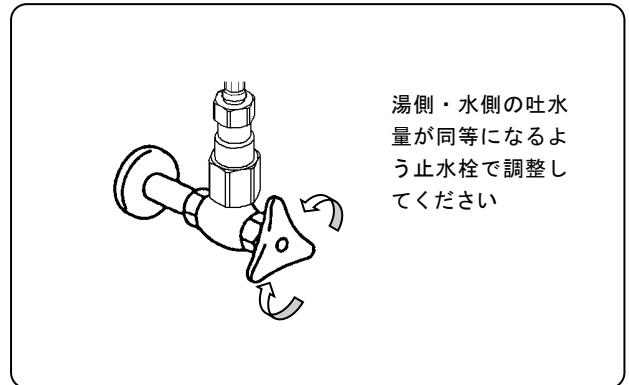


2. 水量の調節（図 10 参照）

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図 10



湯側・水側の吐水量が同等になるよう止水栓で調整してください

お客さまへの説明

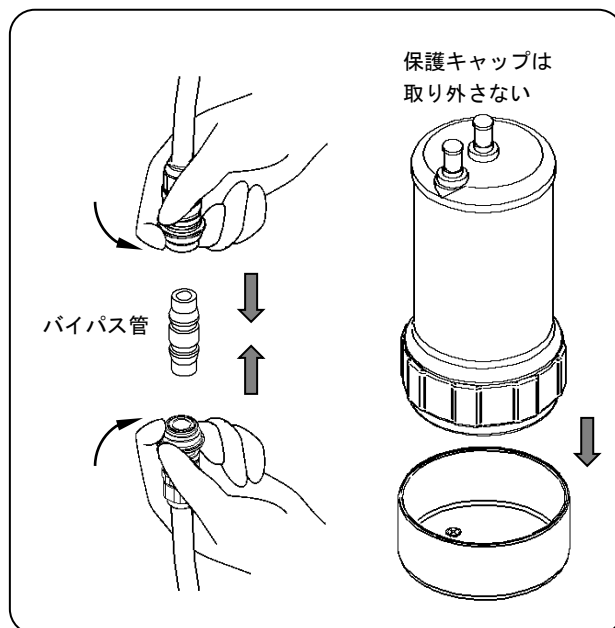
- 浄水能力の説明。－「取扱説明書」の仕様をご覧ください。
 - 水量の説明。－「施工説明書」の水量の調整をご覧ください。
 - バイパス管の説明。－「付属書」のバイパス管説明書をご覧ください。
 - 浄水カートリッジの設置場所。－「施工説明書」の受皿の取り付けをご覧ください。
 - 浄水カートリッジの交換方法。－「取扱説明書」の浄水カートリッジの交換方法をご覧ください。
- ※ 上記以外でも、「取扱説明書」に従って取り扱い方法をお客さまに説明してください。

浄水器を使用するまで期間があく場合

6. バイパス管の取り付け (図6参照)

- ① 浄水器入口ホースワンタッチジョイントのスライドリングを手で上にあげ、バイパス管に差し込んでください。
- ② 同様に、浄水器出口ホースワンタッチジョイントのスライドリングを手で上にあげ、バイパス管に差し込んでください。
- ③ 浄水カートリッジは保護キャップを取り付けたまま、受皿に差し込んでください。
 ※ 浄水カートリッジは長期間に渡って水を滞留させますと、衛生上好ましくない状態になります。
 ※ 一ヶ月以上使用しない恐れがある場合は、必ずバイパス管を使用してください。

図6



浄水器をすぐ使用する場合

7. 浄水カートリッジの取り付け (図7参照)

- ① 浄水カートリッジの入口、出口に差し込んである保護キャップを取り外してください。
- ② 浄水器入口ホースワンタッチジョイント (エメラルドグリーン) のスライドリングを手で上にあげ、浄水カートリッジに入口 (IN エメラルドグリーン) に差し込んでください。
- ③ 浄水器出口ホースワンタッチジョイント (ニュートラルグレー) のスライドリングを手で上にあげ、浄水カートリッジに出口 (OUT ニュートラルグレー) に差し込んでください。
 ※ ワンタッチジョイントのスライドリングの色と浄水カートリッジの色を合わせてください。
 ※ 浄水器接続ホースによじれがないのを確認してください。よじれがある場合は、ワンタッチジョイントを一度取り外し、よじれを修正して、再度差し込んでください。
 ※ 浄水器接続ホースは給湯の配管に接触しないようにしてください。熱が伝わり早期破壊を生じる可能性があります。

図7

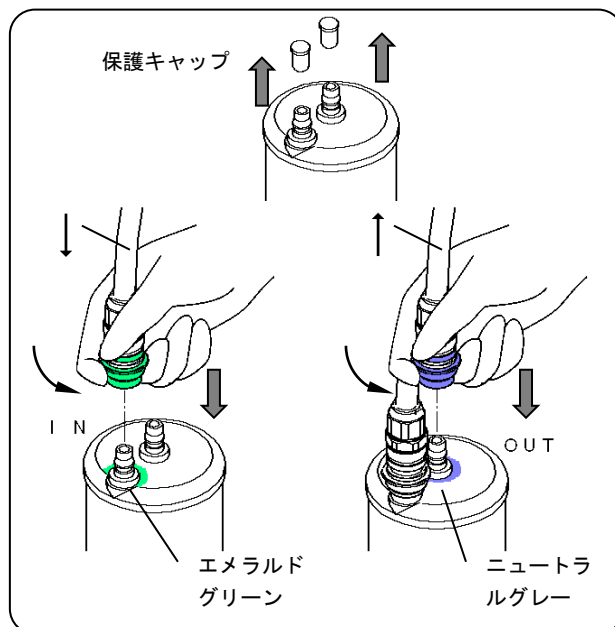
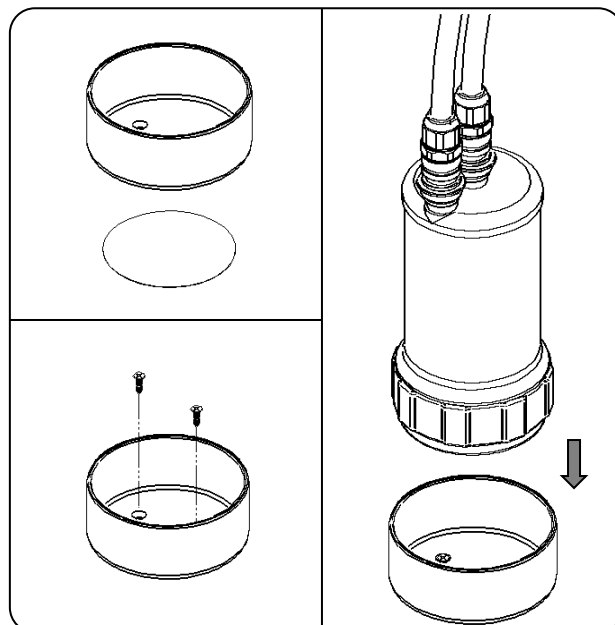


図8

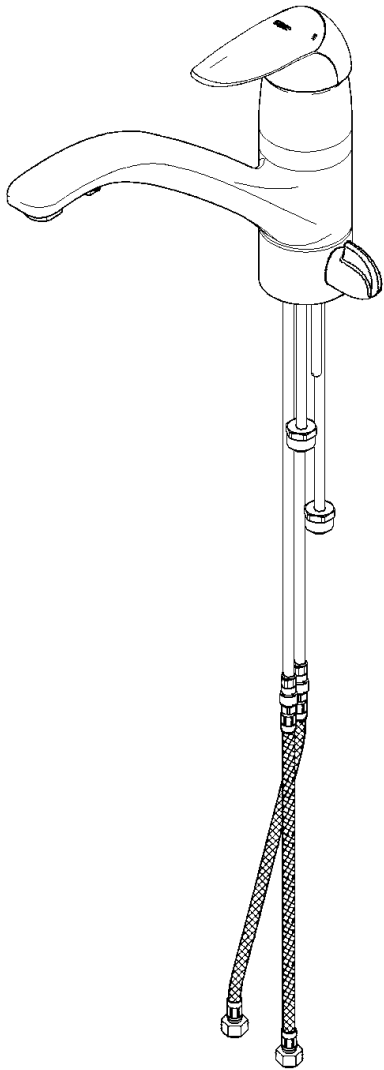
8. 受皿の取り付け (図8参照)

- ① 浄水カートリッジは固定のため、受皿を使用して取り付けてください。
- ② 両面テープを利用して、浄水器接続ホースによじれや折れができない位置に受皿を設置してください。
- ③ 受皿がぐらつく場合は、付属の止ビスで固定してください。
 ※ 浄水カートリッジの設置場所は、お客さまと相談の上、交換が容易な位置にしてください。約一年毎の交換が目安になります。

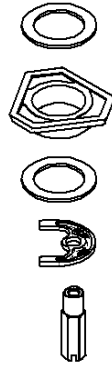


同梱部品

浄水器用混合栓

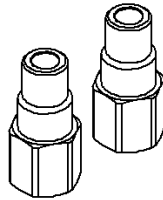


締付セット

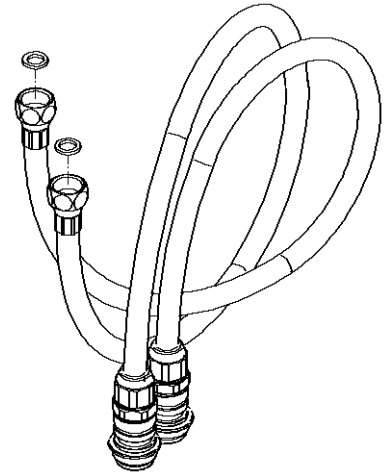


逆止弁

(パッキン4個付)



浄水器入口ホース
浄水器出口ホース
(パッキン2個付)

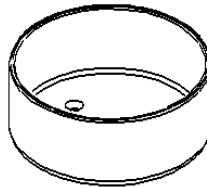


バイパス管

※無色透明



カートリッジ受皿



両面テープ

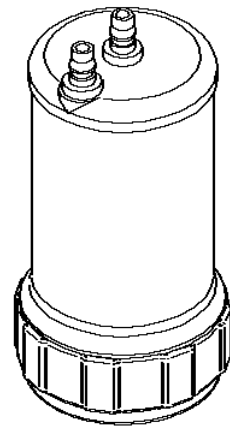


止ビス



浄水カートリッジ

※品番 UZC2000



取扱説明書

※混合栓保証書付

施工説明書

バイパス管
説明書

お知らせ
コールカード
(返信はがき)
※浄水器保証書付

施工前の注意

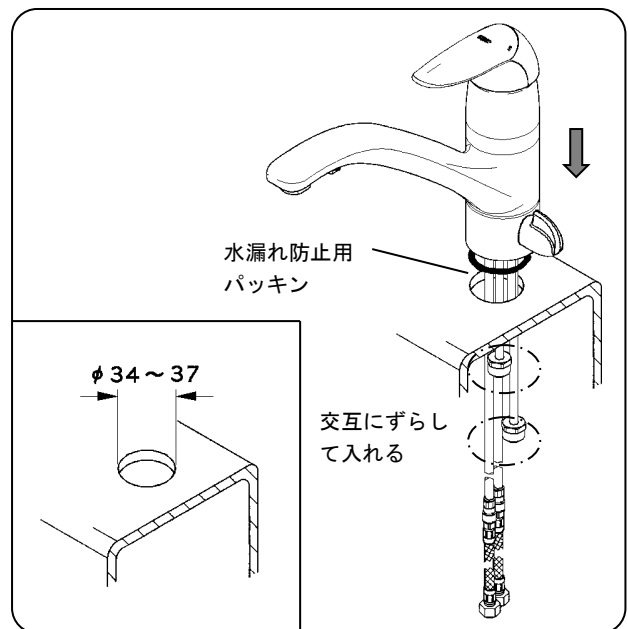
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 配管接続部を隠さないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水管緩み防止の為、給水配管は動かないように確実に固定してください。
- 逆止弁（接続）アダプターの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ（TP1/2、R1/2）には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。
- 配管工事は、建築基準法、水道法、各都市の条例・規定に準じて行ってください。

施工手順

1. 混合栓本体の準備（図1参照）

- ①カウンター上部に取付穴を開けてください。
- ②本体付属部品を収納している小袋から、水漏れ防止用パッキンを取り出し、取り付けてください。
- ③本体をカウンター上部から取付穴に挿入してください。給水管、浄水器接続管のニップルを同時に取付穴へ差し込もうとするとニップルがぶつかり入りませんので、給水管のニップルを差し込んだあと本体を少しずらし浄水器接続管を挿入してください。
- ④本体をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。給水・給湯管が正面に向くように図の通りセットしカウンターうらからゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。又、取付穴が本体の中心にくるように挿入してください。
※給水管、浄水器接続管がつぶれないよう注意してください。

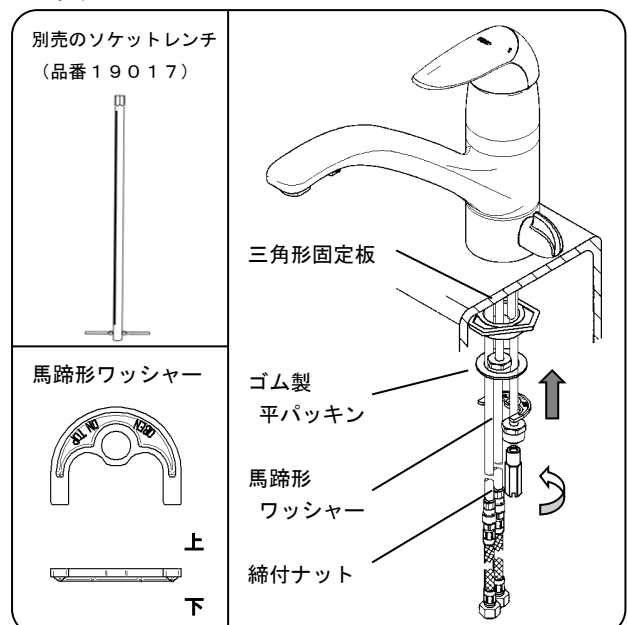
図1



2. 混合栓の固定（図2参照）

- ①本体を正面にセットし、カウンターうらから三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーを挿入し、締付ナットを工具（13mmスパナ）等で締め付けてください。
- ②本体を固定する際、取付穴が本体の中心にくるように取り付けてください。又、取付穴に給水管、浄水器接続管が接触していないことを確認してください。
※三角固定板、ゴム製平パッキンと馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていること。又、本体水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。水栓を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取り付けてください。
※馬蹄形ワッシャーには上下があります。縁どりしてある平らな面が上になります。
※本体が確実に固定されていることを確認してください。吐水口の回転がスムーズであることを確認し、吐水口を回した時に本体が動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。再度締め付けても動く場合は、ゴム製平パッキンは使用しないで締め付けてみてください。
※固定には別売（市販品）のソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

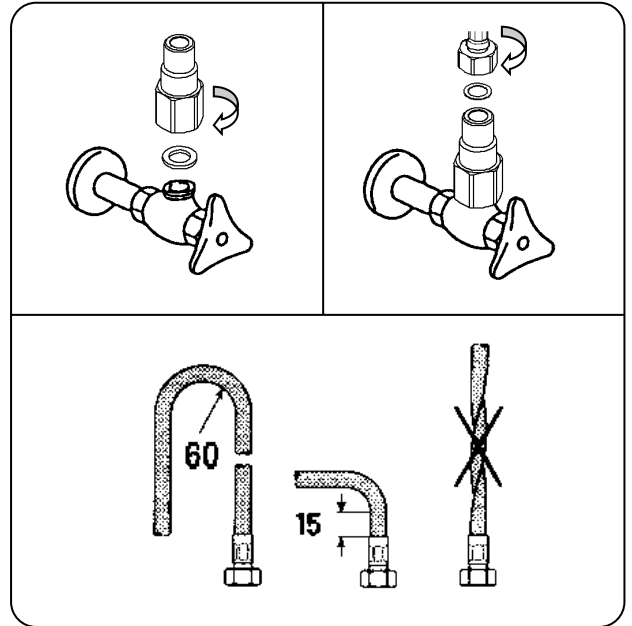
図2



3. 逆止弁、給水・給湯管の接続の接続 (図3参照)

- ①同梱の逆止弁を止水栓にネジ込み確実に固定してください。
- ②給水・給湯管を逆止弁に接続してください。
 ※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。
 ※給水管が折れないように注意してください。給水管を曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、給水管が折れることがあり、折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
 ※水栓本体端面から極端に給水管を屈曲して、施工しないでください。
 ※管同士の不要な接触は避けてください。
 外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。
 ※給水管は必ず給水の止水栓に接続し、給湯からの接続は絶対に行なわないでください。

図3

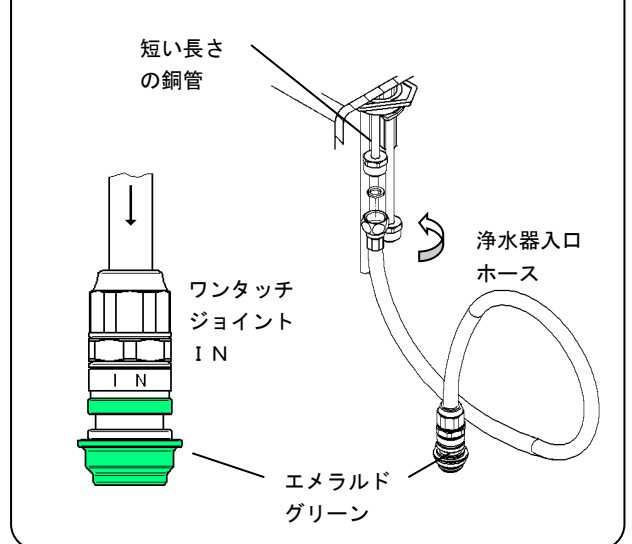


4. 浄水器入口ホースの取り付け (図4参照)

- ①ワンタッチジョイントのスライドリングの色(エメラルドグリーン)を確認してください。
- ②短い長さの銅管のニップルに、浄水器入口ホースの袋ナットを接続してください。
- ③浄水器接続ホースはよじれがないよう、ニップルに袋ナットを回し、締め付けてください。
- ④浄水器接続ホースにたるみを作る場合は、曲げ半径60mm以上にし、折れないよう接続してください。
 ※銅管の矢印と浄水器接続ホースの矢印を合わせてください。
 ※銅管が折れないように注意してください。
 ※浄水器接続ホースは折れないよう注意してください。
 最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、水量が少なくなる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

図4

ニップルと袋ナットを交互に回し、浄水器ホースのよじれをとりながら締め付けてください



5. 浄水器出口ホースの取り付け (図5参照)

- ①ワンタッチジョイントのスライドリングの色(ニュートラルグレー)を確認してください。
- ②中間の長さの銅管のニップルに、浄水器出口ホースの袋ナットを接続してください。
- ③浄水器接続ホースはよじれがないよう、ニップルに袋ナットを回し、締め付けてください。
- ④浄水器接続ホースにたるみを作る場合は、曲げ半径60mm以上にし、折れないよう接続してください。
 ※銅管の矢印と浄水器接続ホースの矢印を合わせてください。
 ※銅管が折れないように注意してください。
 ※浄水器接続ホースは折れないよう注意してください。
 最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、水量が少なくなる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

図5

ニップルと袋ナットを交互に回し、浄水器ホースのよじれをとりながら締め付けてください

